平成 22 年 4 月 26 日

各　　位

会　社　名　宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名　取締役社長　　大宮　　久
（コード番号　2531　東証、大証　第 1 部）
問 合 せ 先　取締役 IR 室長　　松崎　修一郎
T　E　L　（０７５）２４１－５１２４

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 11 月 5 日に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株 当 た り 当期純利益
前回発表予想（A）（平成 21 年 11 月 5 日発表）	192,300	8,900	9,000	5,000	23 円 74 銭
今回修正予想（B）	190,500	8,500	8,700	4,600	21 円 84 銭
増 減 額（B－A）	△1,800	△400	△300	△400	－
増 減 率（％）	△0.9	△4.5	△3.3	△8.0	－
ご参考：前期実績（平成 21 年 3 月期）	192,790	8,851	8,701	5,639	26 円 32 銭

2. 修正の理由

バイオ事業においては、遺伝子工学研究分野の販売が好調に推移するなど、売上・利益面ともに予想を上回る見込みとなりましたが、一方で、酒類・調味料事業において、国内景気低迷に伴い低価格商品へのシフトが進行したことなどにより、当期の連結業績では、売上高が前回発表予想を下回る見通しとなり、これに伴い営業利益・経常利益・当期純利益に関しましても前回発表予想を下回る見通しとなったため、平成 22 年 3 月期の連結業績予想を修正するものであります。

なお、当期純利益に関しましては、前期対比で大幅に減少する見込みですが、これは前期に、土地売却によって以前税務上損金不算入であった損失が確定し、繰延税金資産を計上するという特殊要因が発生し、一時的に当期純利益が大幅に増加していたことによるものです。

また、本日、バイオ事業を行う当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社（コード番号 4974 東証マザーズ）は、平成 22 年 1 月 29 日に公表した平成 22 年 3 月期の業績予想の上方修正を発表しております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、平成 22 年 5 月 11 日発表予定の決算発表数値とは異なる可能性があります。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。